



Dr.'s Message

いきいき健康術 第121回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

和知診療所 和田 誠 医師



気がつけばたくさんの薬が…

医療の進歩によって、以前より病気のこと
がより詳しくわかるようになり、これまでな
かなか治療しにくかった病気もその領域の
専門の医師に診てもらうことにより診断が
付き、治療に結びつくようになることも多
くなってきています。しかし、それぞれの専門
の医師が良いと思って処方した薬も、年齢を
重ねてかかっている病気の数が多くなってし
まった人では、薬の数が増えてしまったり、
ときには違う医師が同じ効果の薬を重ねて
処方してしまっていたり…こんなことがとき
どき起きてしまいます。

年齢に応じて適正な薬の量はちがいます！

年を重ねると、それだけで腎臓の機能や肝
臓の機能が低下します。これは病気ではな
く、だれでも起きてくる現象です。

このため、5～10年前に処方してもらった
薬の量や内容が、現在の体には合わなくな
っているときもあります。

「ずっと前から飲んでいる薬だから」と安
心せず、今の自分にとって合っている薬な
のか、ちょうどいい量なのかを定期的に考える
必要があります。

『お薬手帳を使っていますか』

お薬手帳はとても大事です！

複数の医療機関で薬をもらっている場合
は、医師が薬の飲み合わせを考えたり、医師
が主に治療している病気以外の病気の内容
を考えたり、病気のこれまでの治療経過を
知るうえで、お薬手帳がとても重要です。

よりよい医療を受けるためにも、もらった
検査データ、健診の結果などとともに、たと
え処方内容に変更がなくても毎回お薬手帳
のシールを貼り付けて保存し、医療機関を
受診するときには毎回持って行くようにしま
しょう。

かかりつけ医を持ちましょう！

お薬手帳を持っていても、体全体を診て薬
の飲み合わせを考えたり、副作用のチェッ
クをしたりは自分では難しいです。よって、こ
のようなことを継続的にしてくれる内科のか
かりつけ医を持つようにし、こまめに薬のこ
と、体調のこと、健診の結果などを伝えてお
くようにしましょう。

和知診療所 電話 0771-84-1112

町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。

ご理解とご協力をお願いします